



ひまわり



桶川市青少年健全育成市民会議

第 46 号

令和5年1月1日(年1回発行)

発行 桶川市青少年健全育成市民会議

編集 青少年健全育成市民会議

広報発行委員会

事務局 桶川市教育委員会生涯学習・スポーツ推進課

☎ 788-4970

✉ shogai @ city.okegawa.lg.jp

2023



市民まつり



ふれあいウォーク
(川田谷)



ふれあいウォーク
(坂田)



非行防止街頭
キャンペーン



ふれあいフェスタ



市民大会が行われました

子どもの自己肯定感を 引き上げる方法



一般社団法人教育デザインラボ

代表理事

石田 勝紀 氏

石田氏は20歳で起業し、学習塾を始めました。その経験から、子どもはママと過ごす時間が圧倒的に多いことから、子どもがママの影響を受けることに着目し「ママカフェ」を始めたそうです。ママがハッピーなら子どもが変わる、子どもが変わると

未来が変わる、そんな好循環が生まれるのだそうです。

さて、表題にもある「自己肯定感」、日本には謙遜の文化があり単純な比較は難しいものの諸外国に比べ低い傾向にあります。なぜか？例えば高校受験：学力の序列化によって自信を失ってしまうのです。自己肯定感の低い子どもにはまず、そのままの自分でいい、と認めてあげることが大切です。今の自分を肯定できる感覚をつかませることで、(どうせ自分なんて)というスタートラインのマイナスをゼロにして、挑戦し達成するという経験を積み重ねる、それが自己肯定感を高めることにつながるのです。

石田氏はまた、自己肯定感を引き上げる5つの方法を教えてくださいました。それは、

- ①話をたくさんする
 - ②好きなことは徹底してやる
 - ③絶対達成する目標を作る
 - ④「できない↓できる」体験をする
 - ⑤日常で使用する言葉を変える
- です。話をたくさんするということはコミュニケーションをとること、これは信頼関係を築くために大切なことです。子どもと話をするとより共感する、話を聴く、そうすることで信頼され受け入れてもらえます。

好きなことを徹底してやることで満足感を得て、自分で気付くようになります。小さな目標を作って実現する経験を繰り返すことによりモチベーションがアップします。できないことにチャレンジし、少しでも前進するという体験は、はじめからできている人よりも学びが大きいのです。そして、日常の場面で「自己肯定感をあげる10の魔法のことば」を使うこと、それを自己肯定感を引き上げる10のマジックワードとして紹介してくださいました。

【承認のマジックワード】

- ①すごいね
- ②さすがだね
- ③いいね

【感心のマジックワード】

- ④なるほど
- ⑤知らなかった

【感謝のマジックワード】

- ⑥ありがとう
- ⑦うれしい
- ⑧助かった

【安心のマジックワード】

- ⑨だいじょうぶ
- ⑩らしくないね

この言葉かけを続けることで、子どもは変わるのだそうです。
※マジックワードは使用上の注意をよく読んでからお使いください。
(西永)

【使用上の注意】

- (1) マジックワードは「軽く、明るく、さりげなく」使う
- (2) 短いことが重要→その後、だらだらと話して長いとマジックワードの効果を失う
- (3) 「プラスの感情表現」がでたら、素直に感じたことを言語化(音)する

第35回 桶川市青少年 健全育成市民大会



11月20日(日)、桶川東公民館大ホールにおいて、第35回桶川市青少年健全育成市民大会が開催され、開会行事に続き、講演会及び表彰式を実施しました。

講演会では、一般社団法人教育デザインラボ代表理事の石田勝紀氏による講演「子どもの自己肯定感を引き上げる方法」が行われました。

その後、「青少年育成成功労賞」の表彰が行われ、さらに市内小・中学校が取り組んだ「私たちの主張」作文コンクール及び「家庭の日」ポスターコンクールの表彰と作文コンクール優秀賞作品の朗読が行われました。
(伊藤)

非行防止街頭キャンペーン

7月1日（金）、桶川駅自由通路において、非行防止街頭キャンペーンが行われました。上尾警察署の協力のもと、市長や教育長、当市民会議運営委員が非行防止啓発品を配布し、非行防止を呼びかけました。（小林）



市民まつり非行防止キャンペーン

11月3日（木）、快晴に恵まれた秋空のもと、3年ぶりに市民まつりが開催されました。当市民会議運営委員及び巡回指導員の方々によって、桶川小学校において、リーフレットや風船を配布し、青少年の非行防止を訴えました。（小林）



5月8日（日）、五月晴れの中、新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりに開かれた「おげがわ春のふれあいフェスタ2022」。市民ホールにおいて、来賓の皆様をお迎えして、開会式が厳かに執り行われました。実行委員長の挨拶を皮切りに、小野市長、そしてお越しいただいたご来賓の方々にご祝辞をいただいた後、子ども・子育て支援功労者、桶川市社会福祉協議会への寄附者にそれぞれ感謝状が贈呈されました。

今年のフェスタは、新型コロナウイルス感染症対策として、お客様の出入口を制限するなど、3回に渡り行われた実行委員会において、慎重に検討を重ねて当日を迎えるに至りました。大勢のお客様で会場はあふれんばかりの大盛況でした。そして今年も無事に終了することが出来ました。ありがとうございました。（澁谷）



アクティブ！澁谷会長！



（ちーかま）

桶川市巡回指導員委嘱式及び研修会

6月7日（火）、市内小・中学校のPTAから選出された30名の巡回指導員の方々に、委嘱式及び研修会を行いました。巡回指導員の活動は、月2回の街頭や娯楽施設でのパトロール、年2回の非行防止キャンペーン等に参加し、青少年の健全育成のために活動していただいています。

研修会では、今年も日本ガーディアン・エンジェルの「デューク」こと小田啓二理事長、「ダイアナ」こと大和田尚子理事をお招きし、withコロナの防犯パトロールで心がけたい事などを教えていただきました。同時に、4年間巡回指導員を務めていただいた「中島克姫（なかじま かつき）」さん「並木ゆか（なみき ゆか）」さんに埼玉県知事から感謝状が贈呈されました。（岩田）



（左から）大和田理事、小田理事長



（左から）並木氏、中島氏

**埼玉県等主催「家庭の日」
ポスターコンクールで最優秀賞を受賞**

埼玉県・埼玉県教育委員会・青少年育成埼玉県民会議が主催する、今年度の「家庭の日」ポスターコンクール（小学生の部）において、昨年度、当市民会議主催「家庭の日」ポスターコンクールで優秀賞を受賞した、永瀬馨子さんの作品「大好きな時間」が、最優秀賞【知事賞】を受賞しました。今回のコンクールにおける小学生の部の応募総数は6013点で、永瀬さんの作品はその中での最優秀作品に選ばれたこととなります。

表彰式は、11月27日（日）知事公館にて行われました。

このコンクールの入賞作品は、令和5年1月から2月にかけて、大宮西口DOMショッピングセンター、埼玉県庁、丸広百貨店川越店にて展示される予定です。



受賞作品「大好きな時間」

**令和4年度
青少年育成埼玉県民会議表彰**



大野知事と永瀬さん～表彰式より～

埼玉県等主催 青少年の主張大会で優良賞を受賞

8月21日（日）、さいたま共済会館にて、埼玉県・埼玉県教育委員会・青少年育成埼玉県民会議が主催する、令和4年度「青少年の主張埼玉県大会」が行われ、昨年度、当市民会議主催「私たちの主張」作文コンクールで優秀賞を受賞した、二瓶優月さんが参加しました。二瓶さんの作品「考えることを止めない」は、高校生・一般の部で優良賞【青少年埼玉県民会議会長賞】を受賞しました。



青少年埼玉県民会議副会長前島氏と二瓶さん

青少年育成埼玉県民会議会長より表彰

今年度の埼玉県民会議表彰にて、青少年の健全育成に尽力されている、桶川市青少年健全育成市民会議の構成団体である、桶川市子ども会育成連絡協議会の織田鏡子氏が、「青少年育成功労賞（個人）」を受賞しました。

桶川市より表彰

11月5日（土）に桶川東公民館で、令和4年度桶川市表彰式典が行われ、桶川市青少年健全育成市民会議の澁谷光章会長、湯浅哲朗副会長をはじめ、多くの構成団体の方々が表彰されました。



（左から）澁谷会長、湯浅副会長

青少年育成功労賞



桶川市サッカースポーツ少年団

鈴木 聖 樹

桶川ヤンキーススポーツ少年団

本柳 克 敏

桶川カーディナルススポーツ少年団

田中 三 康

令和4年度桶川市青少年健全育成市民会議表彰者

11月20日(日)に行われた表彰式では、青少年の育成に顕著な功績のあった個人10名が「青少年育成功労賞」を受賞されました。
また、市内小・中学校の児童と生徒が取り組んだ「私たちの主張」作文コンクールでは246点の応募があり、優秀賞及び優良賞各6点の表彰を行いました。

さらに、「家庭の日」ポスターコンクールでは418点の応募があり、優秀賞及び優良賞各9点の表彰を行いました。表彰された皆様や作品を紹介します。
(敬称略)

※ポスターコンクールは6・7ページに掲載
※各受賞者の写真は市民大会の際に撮影



会長 澁谷 光章

桶川レグルススポーツ少年団

小林 悟

桶川西JVC

加藤 匠

桶川ソフトテニススポーツ少年団

松村 紀 子

桶川空手道会

梅田 拓 也

合気道桶川愛気会

秋山 喜 義

桶川市子ども会育成連絡協議会

久保田千沙登

桶川地区更生保護女性会

齊藤 恵美子

令和4年度「私たちの主張」作文コンクール入賞者

優秀賞

ほとくの挑戦

殺処分の現実を知って

おはよしのバトンを未来につなぐ

挑戦という選択肢

将来、私は何してる？

同じ仲間を救いたい

桶川東小学校 5年 寺山 蓮

桶川西小学校 6年 皆藤 巧

桶川小学校 6年 平井 穰

桶川中学校 2年 菅原 希美

桶川中学校 3年 高麗 史奈

桶川東中学校 3年 小山内心優

優良賞

ほとくのもためているしよる来ゆめ

わたしの将来の夢

今がんばっている事

私の将来の夢

笑顔あふれる世界への一歩

戦争をなくすために

日出谷小学校 4年 小室 諒真

川田谷小学校 5年 下向 未桜

川田谷小学校 6年 田中 獅桜

加納中学校 1年 山崎 絢音

桶川東中学校 2年 國分 花音

加納中学校 3年 庭野 夏月

作文講評

小・中学生の皆さんの主張は、自分の将来の夢、自分が挑戦していきたいこと、この世の中の出来事で疑問に思っていることなど、抱えている思いを率直に表現してくれたものでした。自分はどうすればよいのか考えるとともに、いろいろな人とかかわっていくことの大切さがつづられている作文が多かったです。

作文という形で思いを発信できることは大変素晴らしいことです。皆さんが思い描いている未来を創っていってくれることを期待します。(杉山)

ポスター講評

和やかな家族団らんの様子を描いたポスターがたくさん寄せられました。特に今年は全国的な外出自粛が昨年よりも少なかったことを反映し、家族で外出したり、遠距離にお住まいの親戚に会いに行かれたりする様子を描いた作品が多かったのが特徴として挙げられます。どの作品も児童生徒の皆さんがリラックスしながら食事をしたり、家族と出かけたりした様子を表情豊かに描き、家族の温かい雰囲気が伝わってきました。このポスター制作が家庭のあり方や意義を見つめ直し、家族の絆をより一層深める機会の一つとなれば幸いです。(岡安)

桶川市青少年健全育成市民大会



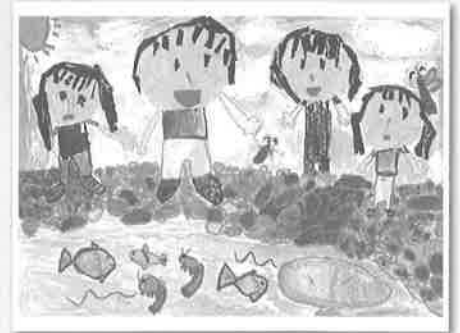
ポスター優秀賞



「家族で見たよ、3年ぶりの花火大会」
桶川西小学校 3年 新井 咲良



桶川東小学校 2年 田中 優月
「おうちで やきにく」



川田谷小学校 2年 岩崎 結
「かぞくで川にいったよ」



「水族館 みんなで海の中にいるみたい」
川田谷小学校 5年 黒田 朔矢



日山谷小学校 4年 佐久間 香里
「3年ぶりに会えたおばあちゃんたち」



「家族で水族館」
桶川西小学校 4年 藤本 花



桶川中学校 3年 小倉 心菜
「記念写真」



「たくさん遊んだね」
桶川中学校 2年 境 優真



桶川西中学校 1年 佐藤 杏咲
「昼寝現場目撃」

ポスター優良賞

桶川市青少年健全育成市民大会



桶川東小学校 3年 荘司 優羽
「おふる上がりはコレだね!!」



朝日小学校 2年 高橋 快斗
「かぞくてたべるすいかはおいしいな」



桶川西小学校 1年 増田 結芽
「みんなでトランプ」



桶川西小学校 6年 酒井 蓮奈
「削った鯉節、召し上がれ!!」



桶川東小学校 5年 秋場 千咲
「家族のお散歩鬼ごっこ」



加納小学校 5年 武田 和子
「家族旅行」



「出発前の我が家」
桶川西中学校 2年 石井 沙弥



桶川中学校 2年 青木 もも
「夏祭り」



桶川中学校 1年 角田 詩織
「私の家族」

入賞作品は、1月4日から16日まで、市役所1階市民ギャラリーに展示します。

2022 親子ふれあいウォーク

川田谷地区

10月1日(土)、3年ぶりに川田谷地区の親子ふれあいウォークが開催されました。



68名の参加者が、農業センターをスタート＆ゴールに、4つのチェックポイントを巡る8キロのウォーキングに挑戦しました。

最初に訪れた桶川飛行学校・平和記念館では、「オケちゃん」のお出迎えがあり一緒に記念撮影もしました。次に向かったのは、原集会所。ここでは、青少年相談員・ジュニアリーダーさんが待機。的が動いて少し難しい射的を楽しみました。圏央道北本加納インターの脇を通過して、初めて通る道や落ちていくどんぐりなどに少し秋を感じながら、市場自治会館に到着。そして、最後は川田谷小学校。2つのチェックポイントではスポーツ推進委員の方々にボットチャヤモルックを教えていただきました。最後の力を振り絞りゴールの農業センターへ。参加者全員が無事に完歩して、楽しい大満足のウォークラリーでした。(小高)

坂田地区

10月15日(土)、肌寒い曇り空のもと、坂田地区の親子ふれあいウォークが開催され、86名の参加者がスタートとゴール地点の坂田コミュニティセンターに集まりました。

まずは最初のポイントである明星院に行き、待ち受けている「オケちゃん」との写真撮影をし、倉田集会所、氷川諏訪神社、ふれあい会館、小針領家集会所、坂田氷川神社、子ども公園わんぱく村へと続きます。全てのポイントにトイレ休憩の場所があり、水分補給もし易かったと思

います。昨年度も新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、3年ぶりに行われ、秋風の中ウォーキングを楽しみました。

射的を楽しむ様子



射的を楽しむ様子

ひまわりのつばき

★5月の「おけがわ春のふれあいフェスタ2022」と11月の「第45回桶川市民まつり」における小野市長と実行委員の皆様の英断に心から感謝しております。

★5月コロナ 新しい桶川 (澁谷)

★久しぶりの仲間とひまわりの編集。みんなで和気あいあいの雰囲気変わらない。顔を見ながら色々話し合うことの大事さを改めて感じました。(小高)

★トリは巣立った後も巣に戻ることもあるらしい。ヒトも巣立ち後、家に戻ってもいい。飛ぶのに疲れたら休めばいい。あったかいご飯を作って待つているよ。(西水)

★今年、コロナに負けず、多くの行事が行えたが、たった2年のブランクでも迷うことが多くあった。継続が大切だと感じたとともに、今年は再スタートの年でした。(岩田)

★娘たちの初めてしゃべった言葉、初めて自転車乗れたときは覚えているのに、全然記憶がない「最後の〇〇」。最

編集後記

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため様々な事業の中止が続いた数年間でしたが、今年度は、徹底した対策を行い当市民会議では「おけがわ春のふれあいフェスタ2022」「親子ふれあいウォーク」など多くの事業を開催することができました。そこには、子ども達のたくさんの明るい笑顔がありました。また、人と人とのふれあい、子ども達がよりよい環境の中で、心

後に同じ布団で寝たのはいつだったっけ？ (伊藤)

★末子が小学生になり、お友達との公園遊びについて回る毎日。子どもの遊びに付き添うのもあとわずかな、この時間を大切にしたいなど強く思う今日この頃です。(小林)

★高学年になった息子がそろりそろりと反抗期に突入。でも私の日課である彼のほっぺをプニプニむにむにはまださせてくれる様子。仕方なく感否めないけど。(黒田)

★眠くなる人との首を触る癖がある娘。夕方、私が炊事中は兄の首を触りに。ゲーム中に首を触られても動じず、もたれやすいよう体勢を変える兄。平和だなあ。(柳田)

★頑張っても思い通りにいかず、イライラしたり自信を無くしたりする息子たち。その頑張りはずっとに無駄になりません！母が保証します！(西)

★子どもと同じ好きな事。娘とはアイドルで息子とはアニメの話。イベント事も教えてくれて、会話にも困らない。なんと嬉しい事か。気持ちだけは子どもと同年代(笑)そんな毎日に日々感謝。(対馬)

豊かでたくましく笑顔の絶えない毎日が過ごせるよう、家庭・地域・学校との繋がりを大切に、これからも子ども達を温かく見守っていきたいと思います。

最後に、広報「ひまわり」を制作するにあたりご協力いただいた皆様ありがとうございました。そして、皆様との出会いに感謝いたします。

さあ、これからも大人と子どもが手を取り合って明るい未来へ前進していきます！広報「ひまわり」を最後までお読みいただきありがとうございます。(西)